

# 茨木市 子ども・子育て支援に関する事業所アンケート

## <幼稚園・認定こども園・保育所>

日頃より、本市教育・保育行政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

平成27年3月に策定した「茨木市次世代育成支援行動計画（第3期）」が2019年度末で終了することから、子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者計画」を含めた、本市の子ども・若者支援に関する施策を総合的・計画的に推進するための新たな計画となる「(仮称)茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）」を策定することとしています。

このたび、幼稚園・認定こども園・保育所を対象に、各施設の現状や今後の意向をうかがい、計画策定や今後の教育・保育施策の基礎資料とするためのアンケートを実施することになりました。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、個々の回答内容や貴施設名を公表することは一切ございません。

ご多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年12月 茨木市

### ■回答にあたってのお願い .....

- 回答は、本年4月1日現在の状況をご記入ください。
- 回答は、選択肢の中から当てはまる番号に○を付けてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合がありますので、質問文をよくお読みになりご回答ください。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にできるだけ具体的に書いてください。
- 回答が終わりましたら、記入漏れや記入間違い等がないか確認し、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに12月27日（木）までにポストに投函してください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】茨木市 こども育成部 こども政策課

電話：072-620-1625（直通）

□最初に貴施設の基本情報をご記入ください。

①施設名称	
②施設区分（いずれかに○）	1 幼稚園      2 認定こども園      3 保育所
③運営主体（法人）の名称	
④園長・所長名	
⑤担当者（記入者）名	
⑥連絡先	（電話番号） （メールアドレス）

幼稚園は問1から、認定こども園・保育所は問5からお答えください。

1. 特定教育・保育施設への移行状況及び予定について

問1 特定教育・保育施設への移行について、あてはまるものに○をつけてください。  
(○は1つ)

- |   |                                     |      |
|---|-------------------------------------|------|
| 1 | すでに幼稚園（施設型給付）に移行済みである               | ⇒問2へ |
| 2 | 平成31年度以降、幼稚園（施設型給付）に移行する予定          | ⇒問3へ |
| 3 | 平成31年度以降、幼保連携型もしくは幼稚園型認定こども園に移行する予定 | ⇒問4へ |
| 4 | 現時点では移行しない予定                        | ⇒問5へ |
| 5 | 上記のいずれにも該当しない                       | ⇒問5へ |

【問1で「1 すでに幼稚園（施設型給付）に移行済みである」と回答した方にお伺いします。】

問2（1）1号認定利用定員及び実際の利用児童数をご記入ください。

1号認定利用定員（ ）人 利用児童数（ ）人

問2（2）預かり保育の実施状況について、実施の有無についてあてはまる番号に○をつけ、「1 実施中」の場合は、（ ）に利用人数をご記入ください。

- |   |  |      |
|---|--|------|
| 1 | 実施中である<br>(在園児又は非在園児に関わらず、利用人数をご記入ください。) |      |
|   | ⇒平日及び長期休業中の年間延べ利用児童数                     | ( )人 |
|   | ⇒長期休業中において8時間以上となる延べ利用児童数                | ( )人 |
|   | ⇒休日の年間延べ利用児童数                            | ( )人 |
| 2 | 実施していない                                  |      |

⇒問5へ

【問1で「2 平成31年度以降、幼稚園（施設型給付）に移行する予定」と回答した方にお伺いします。】

問3（1）移行予定年度を教えてください。

1 2019（平成31）年度      2 2020年度      3 2021年度以降

問3（2）1号認定利用定員は、何人程度を想定していますか。

1号定員（ ）人

問3（3）預かり保育を実施する予定はありますか。実施の有無についてあてはまる番号に○をつけ、「1 実施予定である」の場合は、（ ）に想定する利用人数をご記入ください。

- |   |   |      |
|---|---|------|
| 1 | 実施予定である<br>(在園児又は非在園児に関わらず、想定する人数をご記入ください。) |      |
|   | ⇒平日及び長期休業中の年間延べ利用児童数                        | ( )人 |
|   | ⇒長期休業中において8時間以上となる延べ利用児童数                   | ( )人 |
|   | ⇒休日の年間延べ利用児童数                               | ( )人 |
| 2 | 実施する予定はない                                   |      |

⇒問5へ

【問1で「3 平成31年度以降、認定こども園に移行する予定」と回答した方にお伺いします。】

問4 (1) 移行予定年度を教えてください。

1 2019 (平成 31) 年度	2 2020 年度	3 2021 年度以降
-------------------	-----------	-------------

問4 (2) 教育標準時間認定子ども (1号定員)、保育認定子ども (2号・3号定員) に係る利用定員 (予定) をご記入ください。

	利用定員	利用児童数
1号定員 (3、4、5歳児)	人	人
2号定員 (3、4、5歳児)	人	人
3号定員 (0、1、2歳児)	人	人

問4 (3) 教育標準時間認定子ども (1号定員) に係る預かり保育を実施する予定はありますか。実施の有無についてあてはまる番号に○をつけ、「1 実施予定である」の場合は、( ) に想定する利用人数をご記入ください。

1 実施予定である (在園児又は非在園児に関わらず、想定する人数をご記入ください。) ⇒平日及び長期休業中の年間延べ利用児童数 ( ) 人 ⇒長期休業中において8時間以上となる延べ利用児童数 ( ) 人 ⇒休日の年間延べ利用児童数 ( ) 人
2 実施していない

⇒問5へ

## 2. 配慮を要する児童の状況について

問5 0～5歳児の年齢ごとの配慮を要する児童に対応するための職員 (加配保育士等職員) の職員数 (実人数) を教えてください。

(保育所・認定こども園は平成30年4月1日時点 幼稚園は5月1日時点)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保育士・幼稚園教諭	人	人	人	人	人	人
上記以外	人	人	人	人	人	人

問6 0～5歳児の年齢ごとの配慮を要する児童 (加配保育士等職員を配置する必要がある児童) の利用人数を教えてください。

(保育所・認定こども園は平成30年4月1日時点 幼稚園は5月1日時点)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
利用人数	人	人	人	人	人	人

問7 配慮の内容ごとに**児童の利用**人数を記入してください。不明の場合は「その他」に記入してください。

配慮の内容	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	情緒障害	その他
利用人数	人	人	人	人	人	人	人

### 3. 連携施設になることについての考え

小規模保育事業所等の連携施設になることについてどのようにお考えですか。現時点での貴施設の意向をお答えください。(貴施設の運営主体が実施する小規模保育事業所等の連携施設になる場合を除きます。)

問8 小規模保育事業所等の連携施設になることについて、どのようにお考えですか。

(○は1つ)

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 1 | 連携施設になってもよい(既になっている場合は、さらに他事業所となってもよい) |       |
|   | ⇒問9へ                                   |       |
| 2 | 連携施設になる予定はない                           | ⇒問10へ |
| 3 | 未定・検討中                                 | ⇒問10へ |

【問8で「1 連携施設になってもよい」と回答した方にお伺いします。】

問9 連携施設として、連携協力が可能な項目はどれですか。(○はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 集団保育を体験させるための機会の設定、保育の適切な提供に必要な家庭的保育事業者等に対する相談、助言その他の保育の内容に関する支援を行うこと |
| 2 | 必要に応じて代替保育を提供すること   |
| 3 | 利用乳幼児を、保育の終了に際して、保護者の希望に基づき、引き続き当該連携施設において受け入れて教育又は保育を提供すること          |
| 4 | その他( )  |

⇒問11へ

【問8で「2 連携施設になる予定はない」「3 未定・検討中」と回答した方にお伺いします。】

問10 連携施設になるにあたっての懸案事項は何ですか。(○はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 連携施設について、実際の具体的な連携内容がわからない                          |
| 2 | 小規模保育事業所等の保育方針がわからないため、連携施設になることに不安がある              |
| 3 | 特定の小規模保育事業等の連携施設になることに、在園児の保護者の理解を得られるか不安である        |
| 4 | 連携施設になることで、小規模保育事業等の保育全般に関係していると誤解されないか不安である        |
| 5 | 連携施設になると事務負担が増えるのではないかと不安である                        |
| 6 | 小規模保育事業所等と児童の年齢が異なるため、集団保育の提供の具体的な連携のイメージがわからない     |
| 7 | 3歳児以降の受け入れを連携した場合、日頃関わりのない小規模保育事業所の児童を受け入れることに不安がある |
| 8 | 小規模保育事業所等と開所日・時間が異なるため、現実的に3歳児以降の受け入れをすることができない     |
| 9 | その他( )  |



## 5. 保育士等職員の求人状況

問16 求人活動として実施しているものをお答えください。また、選択した求人手段の効果について、5段階で評価してください。求人活動を行っていない場合は「6（行っていない）」を選択してください。（○はそれぞれ1つ）

実施している求人は (番号に○印)	選択した求人手段の効果は					
	高い	やや 高い	どちらとも いえない	やや 低い	低い	行って いない
1 養成施設からの紹介	1	2	3	4	5	6
2 ハローワーク	1	2	3	4	5	6
3 求人広告（新聞、求人誌）	1	2	3	4	5	6
4 自施設のHP、チラシ	1	2	3	4	5	6
5 人材派遣、紹介会社	1	2	3	4	5	6
6 就職説明会	1	2	3	4	5	6
7 自治体との連携	1	2	3	4	5	6
8 その他 ( )						

問17 昨年度、求人募集した人数についてお答えください。（○は1つ）

1 0人	2 1人	3 2人
4 3人	5 4人	6 5人
7 6人	8 7人	9 8人以上

問18 昨年度、求人募集した結果、採用となった人数についてお答えください。（○は1つ）

1 0人	2 1人	3 2人
4 3人	5 4人	6 5人
7 6人	8 7人	9 8人以上

## 6. 潜在保育士等職員の確保・活用状況

潜在保育士等とは、保育士資格・幼稚園教諭免許を持ちながらも、保育士等として就業しなかった方、または現在就業していない方のことをいいます。

問19 新卒採用以外の潜在保育士等の求人活動を行っていますか。(○は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 はい ⇒問 20 へ | 2 いいえ ⇒問 22 へ |
|--------------|---------------|

【問 19 で「1 はい」と回答した方にお伺いします。】

問20 (1) 雇用する潜在保育士等に求める技術・知識は何ですか。(○は3つまで)

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1 保育士としての基本的な実務経験  | 2 熟練した実務経験                |
| 3 乳児保育の経験          | 4 集団保育の経験                 |
| 5 施設管理経験           | 6 コミュニケーション能力(保護者、同僚に対する) |
| 7 保育に関する幅広い知識・実技能力 | 8 社会人としてのモラル・一般常識         |
| 9 パソコンの基本的な操作      | 10 最近の子育て事情への知識や理解        |
| 11 その他 ( )         | 12 施設内で養成するため何も求めない       |

問20 (2) 潜在保育士等の求人活動の採用結果(採用したか)をお答えください。(○は1つ)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 採用した ⇒問 21 へ | 2 採用しなかった ⇒問 22 へ |
|----------------|-------------------|

【問 20 (2) で「1 採用した」と回答した方にお伺いします。】

問21 (1) 雇用した潜在保育士等の雇用形態についてお答えください。(○はいくつでも)

- |        |                  |                 |
|--------|------------------|-----------------|
| 1 正規職員 | 2 有期契約職員(パートタイム) | 3 有期契約職員(フルタイム) |
|--------|------------------|-----------------|

問21 (2) 今年度、雇用した潜在保育士等の年代について、( ) 内に人数をご記入ください。

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 20 歳代 ( ) 人 | 2 30 歳代 ( ) 人 | 3 40 歳代 ( ) 人 |
| 4 50 歳代 ( ) 人 | 5 60 歳代 ( ) 人 | 6 その他 ( ) 人   |

【問 19 で「2 いいえ」または問 20 (2) で「2 採用しなかった」と回答した方にお伺いします。】

問22 潜在保育士等を雇用しない(またはできない)理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1 人員が足りている                               |
| 2 経営的な余裕がない                              |
| 3 自施設に雇用するための制度・体制がない                    |
| 4 雇用に向けた財政支援(補助金がない)                     |
| 5 求人したいがノウハウがない                          |
| 6 雇用のための合同説明会等就職コーディネートの支援がない            |
| 7 求人募集をしたが、応募がなかった                       |
| 8 求人募集をし、応募はあったが、自施設が求める職員ではなく、採用とならなかった |
| 9 採用となったが、採用辞退の申し出を受けた                   |
| 10 その他 ( )                               |

## 7. 潜在保育士等職員に対する意見・考え

問23 潜在保育士等を採用するメリットとして考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 保育士等の経験がある     | 2 他業種での社会人経験がある     |
| 3 子育て経験がある       | 4 社会性と一般常識に優れている    |
| 5 モラルと倫理をわきまえている | 6 コミュニケーション能力に長けている |
| 7 即戦力として期待できる    | 8 シフトが組みやすくなる       |
| 9 保育等の質が向上する     | 10 経営効率が上がる         |
| 11 施設雰囲気が変わる     | 12 その他 ( )          |

問24 潜在保育士等を採用するデメリットとして考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 保育士等の経験がない        | 2 過去の保育士等の経験が障害になる |
| 3 保育等に関する最新の知識・情報不足 | 4 社会性と一般常識に欠けている   |
| 5 モラルと倫理がわきまえられていない | 6 即戦力として期待できない     |
| 7 シフトが組みにくい         | 8 保育等の質が低下する       |
| 9 経営効率が下がる          | 10 施設の雰囲気が変わる      |
| 11 その他 ( )          |                    |

問25 潜在保育士等が保育士等として就業しない理由として考えられることは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 家庭との両立が困難(子育て・介護等) | 2 自身の健康問題       |
| 3 他の職種への興味           | 4 自分への適正・能力への不安 |
| 5 近い将来、結婚、出産を控えている   | 6 人間関係への不満      |
| 7 雇用者側の都合(施設の閉園等)    | 8 雇用条件への不満      |
| 9 教育・研修体制への不満        | 10 理念・方針への不満    |
| 11 将来への不安(昇給・昇進)     | 12 責任の重さ・事故への不安 |
| 13 IT化についていけない       | 14 その他 ( )      |



